



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成23年11月11日

上場会社名 カネヨウ株式会社

上場取引所 大

コード番号 3209 URL <http://www.kaneyo-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土田 外志建

問合せ先責任者 (役職名) 取締役職能担当

(氏名) 山成 哲央

TEL 06-6243-6500

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 4,653 | 10.7 | 8 | | 15 | | 26 | |
| 23年3月期第2四半期 | 4,203 | 2.7 | 11 | | 35 | | 45 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 1.87 | |
| 23年3月期第2四半期 | 3.21 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|-----|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 5,578 | | 557 | | 10.0 | 39.73 |
| 23年3月期 | 5,259 | | 668 | | 12.7 | 47.63 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 557百万円 23年3月期 668百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 合計 |
|------------|--------|--------|--------|------|-----|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 円 銭 | |
| 23年3月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | | 0.00 | | 0.00 | | 0.00 |
| 24年3月期(予想) | | | | 0.00 | | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,600 | 0.6 | 85 | 18.3 | 35 | 80.1 | 24 | 756.0 | 1.71 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 24年3月期2Q | 14,066,208 株 | 23年3月期 | 14,066,208 株 |
| 24年3月期2Q | 29,664 株 | 23年3月期 | 29,664 株 |
| 24年3月期2Q | 14,036,544 株 | 23年3月期2Q | 14,040,328 株 |

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成23年10月27日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」の内容から変更しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1．当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2．サマリー情報(その他)に関する事項 | 2 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 2 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 3．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 2 |
| 4．四半期財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 4 |
| 第2四半期累計期間 | 4 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 5 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 6 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、年初からの北アフリカ・中東諸国の政変により不透明感を増して、8月初めに米国債のデフォルト危機が発生する等、米景気の二番底懸念が広がっており、ギリシャに始まった欧州の債務不安も解消には程遠く、加えて、回復を牽引してきた新興国経済も変調の兆しを見せる等、ますます不透明感を高めております。

足元の日本経済は、言うまでも無く、東日本大震災という未曾有の国難があり、更に、円高、株安、デフレの歯止めが利かないような状況で、戦後最大の危機に瀕しているとも言われています。

このような環境下、当社は「収益力の最大化」を掲げ、攻めの姿勢を明確にし「伝統的既存商権の拡充」「新規商権の伸長」を基本戦略として推し進めてまいりました。大震災以降数ヶ月の消費自粛の流れ、円高による景気の下振れ懸念、株安による逆資産効果等で消費マインドは盛り上がりに欠けましたものの、大手優良取引先への寝装用原料の販売の拡大、節電対応の冷感・涼感商品用生地の新規販売、欧州を中心とした織物輸出の堅調な推移等が大きく貢献し、前年同期比増収へと繋がりました。しかしながら、一部商権の減少や原材料相場の高騰等の要因により売上総利益率は6.21%と前年同期比-0.55%となり売上増を充分には利益増に反映させることができませんでした。

以上の結果、売上高は46億53百万円(前年同期42億3百万円)と4億49百万円の増収となりました。損益面では営業利益は8百万円(前年同期11百万円の損失)、経常損失は15百万円(前年同期35百万円の損失)と前年同期比19百万円の良化となりました。四半期純損失は、事務所移転費用の10百万円を特別損失に計上し、26百万円(前年同期45百万円の損失)となり前年同期比18百万円の良化となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末の52億59百万円に比し3億18百万円増加し、55億78百万円となりました。増加の主因は、秋冬の販売シーズンに向け商品仕入が増加し、それに伴い、商品が2億円増加したためであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末の45億90百万円に比し4億29百万円増加し、50億20百万円となりました。増加の主因は、秋冬シーズンに向けた商品備蓄を行い、支払手形及び買掛金の仕入債務が2億81百万円増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末の6億68百万円に比し、1億10百万円減少し、5億57百万円となりました。減少の主因は、当第2四半期純損失を26百万円計上した事に加え、繰延ヘッジ損益が45百万円、その他有価証券評価差額金が39百万円それぞれ減少したためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては平成23年10月27日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 430,154 | 674,019 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,932,649 | 2,893,707 |
| 商品 | 778,501 | 978,904 |
| その他 | 83,411 | 100,478 |
| 貸倒引当金 | 19,011 | 20,058 |
| 流動資産合計 | 4,205,704 | 4,627,051 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 562,194 | 588,024 |
| 無形固定資産 | 5,921 | 5,911 |
| 投資その他の資産 | 485,617 | 357,288 |
| 固定資産合計 | 1,053,733 | 951,224 |
| 資産合計 | 5,259,438 | 5,578,276 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,058,185 | 2,340,047 |
| 短期借入金 | 1,905,264 | 1,994,215 |
| 未払法人税等 | 3,082 | 2,188 |
| 賞与引当金 | 10,900 | 11,400 |
| その他 | 217,178 | 269,852 |
| 流動負債合計 | 4,194,610 | 4,617,703 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 129,573 | 118,190 |
| 役員退職慰労引当金 | 23,353 | 27,623 |
| その他 | 243,309 | 257,112 |
| 固定負債合計 | 396,235 | 402,925 |
| 負債合計 | 4,590,846 | 5,020,629 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 703,310 | 703,310 |
| 資本剰余金 | 138,353 | 138,353 |
| 利益剰余金 | 457,315 | 483,611 |
| 自己株式 | 2,288 | 2,288 |
| 株主資本合計 | 382,059 | 355,763 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,878 | 31,249 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5,452 | 40,069 |
| 土地再評価差額金 | 273,201 | 273,201 |
| 評価・換算差額等合計 | 286,532 | 201,883 |
| 純資産合計 | 668,591 | 557,646 |
| 負債純資産合計 | 5,259,438 | 5,578,276 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------|---|---|
| 売上高 | 4,203,562 | 4,653,396 |
| 売上原価 | 3,919,352 | 4,364,560 |
| 売上総利益 | 284,210 | 288,836 |
| 販売費及び一般管理費 | 295,213 | 280,435 |
| 営業利益又は営業損失() | 11,003 | 8,400 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,065 | 790 |
| 受取配当金 | 1,255 | 1,263 |
| 受取賃貸料 | 9,240 | 7,800 |
| その他 | 0 | 317 |
| 営業外収益合計 | 11,561 | 10,171 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 26,869 | 26,462 |
| 賃貸収入原価 | 8,536 | 7,702 |
| その他 | 164 | 184 |
| 営業外費用合計 | 35,570 | 34,349 |
| 経常損失() | 35,012 | 15,777 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 9,352 | - |
| 特別利益合計 | 9,352 | - |
| 特別損失 | | |
| 本社移転費用 | - | 10,018 |
| 投資有価証券評価損 | 18,941 | - |
| 特別損失合計 | 18,941 | 10,018 |
| 税引前四半期純損失() | 44,601 | 25,796 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 500 | 500 |
| 法人税等調整額 | - | - |
| 法人税等合計 | 500 | 500 |
| 四半期純損失() | 45,101 | 26,296 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失() | 44,601 | 25,796 |
| 減価償却費 | 4,774 | 6,256 |
| 無形固定資産償却費 | 1,114 | 793 |
| 長期前払費用償却額 | 201 | 187 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 3,606 | 35 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 1,000 | 500 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 4,200 | 4,270 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 18,941 | - |
| 移転費用 | - | 10,018 |
| 受取利息及び受取配当金 | 2,321 | 2,053 |
| 支払利息 | 26,869 | 26,462 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 208,331 | 38,941 |
| 破産更生債権等の増減額(は増加) | 60 | 58,400 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 184,589 | 200,402 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 109,546 | 281,862 |
| その他 | 15,319 | 2,455 |
| 小計 | 155,119 | 196,950 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,331 | 2,079 |
| 利息の支払額 | 29,026 | 28,019 |
| 法人税等の支払額 | 950 | 950 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 127,474 | 170,059 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 1,824 | 19,090 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 335 | 311 |
| その他 | 3,900 | 18,276 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 5,390 | 503 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 200,000 | 70,000 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 58,882 | 92,432 |
| 自己株式の取得による支出 | 22 | - |
| その他 | 313 | 1,703 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 159,217 | 75,864 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 721 | 1,556 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 37,855 | 243,865 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 867,966 | 430,154 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 830,111 | 674,019 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。